



ホームページのほかにも市公式フェイスブックや市公式LINE(10月19日現在、友だち登録者1万3185人のLINEVROOMでもまちの出来事を紹介しています。)

9/4 SURVIVAL GAMES in NAYORO 2022



名寄ピヤシリスキー場駐車場で開催し、市内外からおおよそ130人のプレイヤーが集結。今年の会場は遮蔽物が入り組むフィールドが用意され、隠れては銃で威嚇を繰り返して進んでいました。

チームメイトで連携し、サバイバルにのめりこんでいたようです。

9/3 ふうれん街なかマルシェ



風連市街一帯で開催され、多くの方が足を運びました。「ワンコイン市」や「街なかスタンプラリー」、パトカーなどの展示が行われ、家族連れなどが楽しそうに買い物をしていました。

今年で10回目を数え、風連市街全体がマーケットになりました。

9/17 長寿を祝う会



EN-RAYホールで執り行われ、白寿4人、米寿43人、金婚12組が出席。加藤市長は「ご尽力・ご功績に感謝し、皆さまが築かれたまちづくりを続けていく」と祝福しました。

出席者には記念品が贈呈、嬉しそうな表情で受け取っていました。

9/11 街なか運動会



名寄駅前商店街を会場に、今年で3回目となる街なか運動会が開催、幼児や親子、学生など多くの市民がエントリーし、朝から夕方まで運動会を楽しんでいるようすでした。

恒例の746リレーでは、老若男女が熱戦を繰り広げました。

9/19 なよろピヤシリスキー場ヒルクライムレース

前日から雨がしとしと降っており、開催中止もよぎる中、空も悪天になるのを我慢するかのよう。その中で次々と号砲が鳴り響き、ランナーはゴールを目指して駆け上がりました。コースは数十メートルの砂利道、その後最大斜度25度にもなる斜面を駆け上がるランナーは、下を向いて息を切らし手を膝におき、誰もが険しい顔で登っていましたが、ゴール直後で達成感に満ちた笑顔が印象的でした。リレーの部では、あともう少しという距離の一番ツライときに「あともう少し！最後までガンバ！」と受け手や観客が鼓舞し、ランナーも声を荒げ懸命に足を動かし応えていました。限界まで自分を追い込むランナー、健康増進で楽しむランナー、多様な方々が参加され、お互いに健闘を称えていました。



総エントリー数129人のランナーがゲレンデを駆け上がりました。